■議会モニター制度が始まりました。

議会改革を進める中で、知立市議会基本条例に基づき知立市議会の活動に市民の意見を反映させ、円滑で民主的な議会運営を推進するため、議会モニターを設置しました。6月定例会より本会議、委員会などを傍聴いただき議会モニターとしての活動が開始されました。

議会モニターの人員は団体推薦4名、一般公募3名の計7名の方々です。
※任期は1年で、1回に限り再任は認められます。

モニターの職務

- (1) 議会本会議・委員会等を傍聴し、議会運営に関する意見の提出
- (2) 議会報告会、市議会だより及び市議会ホームページに関する意見の提出
- (3) 議会が行うアンケート調査への回答
- (4) 議会モニター会議への出席(年5回程度)
- (5) その他議長が必要と認めたこと

特別委員会からの中間報告

知立駅周辺整備特別委員会

令和2年11月19日に知立駅周辺整備特別委員会を開催し、当局より事業の進捗状況などの説明を受けた後、質疑を行いました。

主な質疑・答弁

- 問** 三河線の豊田側の物権補償ができれば、仮線の敷設調査をはじめ仮線の敷設工事、三河知立駅の新駅建設の着工はできるか。また、事業の延伸はないか。
- 答** 三河知立移設新駅については、令和5年度までに供用開始予定。早期完成に向け県に対し要望している。
- 問** 令和5年度連続立体交差事業完成に合わせ、知立南北線と環状線の接続は事業効果は上がるが課題も多い。現状および見通しは。
- 答** 知立南北線と環状線の接続時期と駅南地区の事業認可については駅周辺整備事業の進捗を見ながら検討し、時期を定めていく。
- 問** (仮称)西新地地区再開発事業の都市計画決定については、地権者の100%同意を得て行っていく予定か。
- 答** 都市計画決定をして事業を進めていくことは、補償金など細部情報を説明しやすくなることもあり、都市計画決定に向け事務を進めたい。

議会改革特別委員会

令和2年6月定例会での中間報告後、令和2年6月22日から令和3年5月18日までの間合計12回の議会改革特別委員会を開催いたしました。

主な検討項目

議会報告会の運営方法・総括、議会モニター制度、オンライン会議、タブレットの導入、委員会の機能強化、高校生議会の開催、反問権の在り方、議会BCP(業務継続計画)、議決すべき事件、市民アンケートの検証等。